



第二期中長期計画は、尚絅学園の現状と課題、本学園を取巻く環境変化及び今後の方針性を踏まえ、今後10年間(2023年度～2032年度)の本学の目指すべき姿(ビジョン)を掲げ、その達成のために中長期的に取り組む重点施策を取りまとめたものです。その内容は、①学園及び各設置校のビジョン(目指すべき姿)の設定、②ビジョン達成のための目標と、目標達成の基準となる評価指標(KPI=Key Performance Indicator)の設定、③責任体制の明確化(主となる委員会・会議や部署等及び執行責任者・執行責任部署の明示)と意思決定の迅速化、④評価指標ごとに諸施策の立案・展開、⑤中期財務計画(中期人員計画、中期施設整備計画)の設定を基本としています。

学園及び各設置校のビジョンの策定

2013年にスタートした第一期「長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画」において、長期ビジョンとして「学園全体の目指すべき姿(将来像)」並びに「法人及び設置校の5年後・10年後のあるべき姿」を策定したが、第二期中長期計画においては、学園全体と法人は極めてニアイコールであることから、改めて学園と法人のビジョンを別立てとせず、学園及び各設置校のビジョンに改変し、学園及び各設置校は中長期計画の最終年度まで、それぞれが掲げたビジョンを完遂することで、一層の明確化を図りました。

尚絅学園及び各設置校のビジョン(目指すべき姿)

学園の ビジョン

- 建学の精神・教育理念に則った社会に貢献し得る女性の育成を具現化するための教育を、各設置校において適切に行う
- 尚絅で学んで良かったと学生・生徒等が真に思う魅力溢れる女子総合学園を目指す
- 地域に貢献し、地域で存在感のある教育・研究機関を目指す
- 学園の持続的発展のために、収支均衡を達成し、堅固な財務基盤を確保する

大学・ 短期大学部の ビジョン

- 教育の質向上により、社会に貢献する女性を育成する
- 学修環境や学生支援を充実させ、学生生活の満足度を高める
- 研究力を強化し、学術の進歩や地域社会に貢献する
- 社会から支持される大学を実現する
- 本学の学びに共感し、本学を選ぶ学生を十分確保する

高等学校・ 中学校の ビジョン

- 教育の質向上を礎に、自ら課題を見つけ解決する力を身につけ、グローバル社会で活躍できる女性を育成する
- 利他のために考え方行動することができる品性のある生徒を育成する
- 学習環境や生徒支援を充実し、生徒の満足度を高める
- 社会のニーズに応じて、地域に開かれた学校として地域活性化に貢献できる学校を実現する
- 「建学の精神」「教育理念」を尊重し、修学意欲の高い生徒を安定的に確保する

附属こども園の ビジョン

- 社会を生き抜く未来の創り手を育成する
- 安心の子育て支援を通して、よりよい社会づくりに貢献する
- 大学・短大附属園として、次世代保育者を育成する
- 尚絅らしさを生かして園児を確保する

この他の項目や詳細につきましては、尚絅学園HPに公開しています。



学校法人尚絅学園 令和4年度決算の概要

1. 決算の概要

学校法人尚絅学園の令和4年度決算は、令和5年5月29日開催の理事会において承認・議決され、同日開催の評議員会に報告されました。また、監事及び監査法人の承認を得ております。以下、その内容についてご説明いたします。

(1)資金収支計算書 資金収支計算書は、当該年度の教育研究活動に対応するすべての資金の収入及び支出の内容を明らかにして、支払資金の収入及び支出の額末を明らかにしています。

資金収支計算書要約 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:百万円)

資金収入の部	令和4年度	前年度	増減
学生生徒等納付金収入	1,380	1,443	△ 63
手数料収入	20	20	0
寄付金収入	6	11	△ 5
補助金収入	787	829	△ 42
資産運用収入	0	0	0
資産売却収入	0	0	0
事業収入	1	3	△ 2
雑収入	61	104	△ 43
借入金等収入	600	0	600
前受金収入	410	450	△ 40
その他の収入	743	306	437
資金収入調整勘定	△ 517	△ 619	102
前年度繰越支払資金	787	581	206
収入の部合計	4,278	3,128	1,150
資金支出の部	令和4年度	前年度	増減
人件費支出	1,526	1,568	△ 42
教育研究経費支出	446	427	19
管理経費支出	240	143	97
借入金等利息支出	6	4	2
借入金等返済支出	233	0	233
施設関係支出	891	3	888
設備関係支出	160	50	110
資産運用支出	5	110	△ 105
その他の支出	72	76	△ 4
資金支出調整勘定	△ 43	△ 40	△ 3
支出の部合計	3,535	2,341	1,194
次年度繰越支払資金	743	787	△ 44
支出の部合計	4,278	3,128	1,150

資金収支計算書の収入の部において、学生生徒等納付金収入は1,380百万円となり、前年度比63百万円減少しました。また、補助金収入として787百万円を計上し、前年度比42百万円減少しました。

学生生徒等納付金収入及び補助金収入における減少要因は、学生・生徒・園児の在籍数が前年度より112名減少していることによるものです。

支出の部では、人件費支出は1,526百万円であり、前年度比42百万円減少しました。教育研究経費支出は446百万円で前年度比19百万円増加、管理経費支出は240百万円で前年度比97百万円増加しました。

管理経費支出における増加要因は、武蔵ヶ丘キャンパスの建物改修工事を行った際の経費計上によるものです。以上の結果により、次年度繰越金は743百万円となり前年度比44百万円減少いたしました。

(2)事業活動収支計算書 事業活動収支計算書は、当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容、収支状況を明らかにして、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示しています。

事業活動収支計算書要約 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:百万円)

事業活動収入の部	令和4年度	前年度	増減
(教育活動収入計)	(2,250)	(2,397)	△ 147
学生生徒等納付金	1,380	1,443	△ 63
手数料	20	20	0
寄附金	2	2	0
経常費等補助金	786	826	△ 40
付随事業収入	1	3	△ 2
雑収入	61	104	△ 43
(教育活動外収入計)	(0)	(0)	△ 1
受取利息・配当金	0	0	0
(特別収入計)	(9)	(16)	△ 7
現物寄付等	9	16	△ 7
事業活動収入計	2,260	2,413	△ 153
事業活動支出の部	令和4年度	前年度	増減
(教育活動支出計)	(2,650)	(2,595)	(55)
人件費	1,532	1,560	△ 28
教育研究経費	820	826	△ 6
〔内燃学費〕	(177)	(183)	△ 6
〔内減価償却額〕	(374)	(399)	△ 25
管理経費	299	208	91
〔内減価償却額〕	(49)	(54)	△ 5
(教育活動外支出計)	(6)	(4)	(2)
借入金等利息	6	4	2
(特別支出計)	(5)	(27)	△ 22
資産処分差額	5	27	△ 22
事業活動支出計	2,662	2,625	37
基本金組入前当年度収支差額	△ 402	△ 212	△ 190
基本金組入額	△ 554	0	△ 554
当年度収支差額	△ 956	△ 212	△ 744
基本金取崩額	0	147	△ 147

事業活動収支計算書の収入の部、支出の部については、資金収支計算書の収入の部、支出の部と同様の項目が多く含まれています。令和4年度の事業活動収支計算書における特徴的なものは、学生生徒等納付金及び経常費等補助金の減少を主要因とした事業活動収入が前年度比153百万円減少したことに対し、人件費の減少及び武蔵ヶ丘キャンパス改修工事に係る管理経費の増加を主要因とした事業活動支出が前年比37百万円の増加となりました。

その結果、教育活動収支差額は△400百万円となり、前年度比△203百万円悪化しました。同様に基本金組入前当年度収支差額は△402百万円となり、前年度比△190百万円悪化しました。